令和８年 10 月 23 日

担当課	教育政策課
担当者	石﨑　貴史 宿野　友史
内線番号	4725・4731
直通電話	086-226-7568

お　知　ら　せ

令和８年度岡山県教育関係功労者表彰受賞者が決定しました。

岡山県教育委員会表彰規則（昭和 36 年岡山県教育委員会規則第 11 号）に基づく表彰を次のとおり行いますのでお知らせします。

記

１　概要

本県教育の振興のために教育、学術及び文化に力を尽くし、その功績が顕著であって、他の模範となる個人又は団体を表彰するものです。

なお、昭和 26 年が第１回であり、本年度が第 77 回です。

２　受賞者

個人 179 人（うち永年勤続功労者 156 人）、４公立学校

３　表彰式

(1) 日時　令和８年 11 月２日（月）14：00～15：30

(2) 場所　ピュアリティまきび　２階　孔雀

(3) 内容　表彰式　　14：00～15：00

記念撮影　15：00～15：30

※永年勤続功労者以外の功労者 23 人、４公立学校に対して表彰を行います。

令和８年度岡山県教育関係功労者表彰候補者数一覧

区分		令和８年度 表彰者数	令和７年度 表彰者数
教育職員で特に功労のあった者		3	3
教育行政に功労のあった者		2	2
保健体育に功労のあったもの	個人	1	1
	団体	0	1
生涯学習及び社会教育に功労のあったもの	個人	1	1
	団体	0	0
文化に功労のあったもの	個人	1	1
	団体	0	0
特殊な業績をあげ功労のあった者		0	0
特に優れた教育活動を行いその業績が奨励に値する者	小	6	5
	中	3	5
	高	3	4
	特	3	2
公立学校で特に業績のあったもの		4	6
小計		27	31
教育職員で永年勤続し功労のあった者			
・小学校教育職員		37	33
・中学校教育職員		20	13
・義務教育学校教育職員		0	0
・高等学校教育職員		43	45
・中等教育学校教育職員		2	1
・特別支援学校教育職員		11	10
・教育委員会事務局職員		14	16
小計		127	118
学校医、学校歯科医及び薬剤師で永年勤続し功労のあった者		29	19
合計		183	168

1　教育職員で特に功労のあった者

※年齢は、令和8年11月2日現在

	氏　　名	現　　職	表　彰　事　由
1	いわさき　まさのり 岩 﨑　政 則 （59歳）	真庭市立落合小学校 校長	平成元年邑久町玉津小学校教諭、久世町余野小学校教諭、久世町遷喬小学校教諭、真庭市月田小学校教諭を歴任し、教育実践に努めた。 平成２１年津山教育事務所主任、主幹、県教育庁教職員課副参事、県教育庁義務教育課総括副参事、津山教育事務所次長、所長、県総合教育センター所長を歴任し、教育行政の推進に尽力した。 令和７年真庭市落合小学校長として、優れた学校経営を行い、豊富な教育行政経験に基づく卓越したマネジメント力を発揮し、教職員の強みを生かした組織づくりや家庭、地域との連携を推進した。児童の主体性や協働性を育む教育活動の質向上に努め、地域に信頼される学校づくりの推進に成果を上げた。
2	ひ な　すすむ 日　名　　進 （59歳）	高梁市立高梁中学校 校長	平成元年有漢町有漢中学校教諭、成羽町成羽中学校教諭、成羽町成羽小学校教諭を歴任し、教育実践に努めた。 平成２０年倉敷教育事務所主任、岡山教育事務所主幹、副参事、総括副参事、総括参事、次長、所長を歴任し、教育行政の推進に尽力した。 令和２年吉備中央町吉備高原小学校長、高梁市成羽小学校長、高梁市高梁中学校長として、優れた学校経営を行い、豊富な経験に基づく判断力とリーダーシップを発揮し、教職員の力を引き出す組織づくりや生徒指導の課題解決に努めた。地域と連携した「高梁未来学」を推進し、持続可能な指導体制を整えるなど、本県教育の振興に成果を上げた。
3	やまもと　けいじ 山 本　圭 司 （59歳）	岡山県立岡山南高等学校 校長	平成元年烏城高等学校教諭、金川高等学校教諭を歴任し、教育実践に努めた。 平成１０年県教育庁保健体育課指導主事、指導主事（主任）、県教育庁競技力対策課指導主事（主任）、指導主事（主査）、県東京事務所主査、県スポーツ振興課主任を歴任し、教育行政の総合的な推進に尽力した。 平成２１年西大寺高等学校教諭として教育実践に努めた。 平成２３年文部科学省スポーツ振興課スポーツサービス振興室事業係長、文部科学省スポーツ振興課スポーツ連携室キャリア形成推進係長、県教育庁保健体育課総括副参事、県教育庁保健体育課高校総体推進室総括副参事、総括参事、県教育庁保健体育課長を歴任し、保健体育行政の推進に尽力した。 令和５年岡山南高等学校長として、優れた学校経営を行い、豊富な経験に基づく判断力とリーダーシップを発揮し、企業等と連携した実学体験やキャリア教育、多様性に配慮した環境整備等、専門高校の特色を生かした教育活動を充実させた。

2　教育行政に功労のあった者

※年齢は、令和8年11月2日現在

	氏　　名	現　　職	表　彰　事　由
1	ふくだ　まさひろ 福 田　昌 弘 （74歳）	美作市教育委員会前教育長	令和２年６月に美作市教育委員会教育長に就任し、在職６年の間に、中学校区ごとの特色を生かした保育園・こども園・幼稚園から中学校までの連携・接続に取り組み、「夢をもち自己実現を目指していく子どもを育てる」教育を推進した。 令和７年度には中国地方初の公立「学びの多様化学校」である美作市立樸学園を開校し、学びたい気持ちはあるものの中学校への行きにくさを感じている生徒を対象に、自分のペースで自分の学びたいことと向きあえる場所を整えるなど、不登校生徒への教育機会の充実及び支援に尽力した。
2	おおた　けいすけ 太 田　啓 補 （68歳）	和気町長	令和４年４月和気町長に就任し、在職４年６か月の間に学校施設の整備に尽力し、特に、小中学校のトイレ環境の改善を推進し、洋式化率を就任時の５７．７％（令和４年５月１日時点）から県内で３番目に高い９６．９％（令和５年９月１日時点）へ３９．２ポイント向上させた。 また、校舎等の長寿命化改良や防災機能強化を推進するとともに、バリアフリートイレの設置や段差解消などのバリアフリー化を積極的に進めるなど、児童生徒が安全・安心に活動できる教育環境の整備・充実に尽力した。

3　保健体育に功労のあった者

※年齢は、令和8年11月2日現在

	氏　　名	現　　職	表　彰　事　由
1 個人	よこやま　せいじ 横山　清嗣 （58歳）	岡山県立玉野光南高等学校 教諭	平成２６年度から平成２８年度までの３年間及び令和６年度から令和７年度までの２年間の計５年間にわたり、岡山県高等学校体育連盟の理事長を務め、平成２８年度及び令和７年度に、中国５県を中心に開催された全国高等学校総合体育大会では、各競技において、選手の競技力向上に努め、優秀な成績を収めるとともに、岡山県実行委員会委員として、競技関係者や地元の高校生をまとめあげ、本県で開催されるインターハイが全ての関係者にとって、心に残る大会となるよう尽力し、大会の成功に大きく貢献した。 平成１０年備前高等学校教諭、平成１７年備前緑陽高等学校教諭、平成１８年岡山工業高等学校教諭、平成２９年玉野光南高等学校教諭として、長年にわたり優れた保健体育科の教科指導を行った。

4　生涯学習及び社会教育に功労のあった者

※年齢は、令和8年11月2日現在

	氏　　名	現　　職	表　彰　事　由
1 個人	ふじい　ひろや 藤井　裕也 （39歳）	(一社)岡山県地域おこし協力隊ネットワーク 代表理事	平成２９年度から現在まで、おかやま子ども応援推進委員会地域学校共同推進部会委員、平成３０年度から現在まで、県生涯学習センター運営協議会委員、令和２年度から５年間、おかやま子ども応援推進委員会委員を務め、地域社会全体の教育力の向上、学校を核とした元気と活力ある地域社会を目指して、地域づくり関係者の立場から地域と学校の連携・協働や施設運営に対し専門的な助言を行い、本県の生涯学習及び社会教育の推進に大きく貢献した。 岡山大学社会教育主事講習の講師や県事業「若者発！まちプロ」の企画運営に携わるなど、若者が地域おこしの現場を訪問し実践的に学ぶ場を創出するとともに、社会教育人材の育成と地域課題の解決に向けた取組の支援を行い、大きな成果を上げた。

5　文化に功労のあった者

※年齢は、令和8年11月2日現在

	氏　　名	現　　職	表　彰　事　由
1 個人	かめだ　しゅういち 亀田　修一 （73歳）	岡山県文化財保護審議会 委員	岡山理科大学名誉教授として考古学における卓越した見識を有し、長年にわたり本県の文化財保護に寄与している。 平成２８年から１０年にわたり岡山県文化財保護審議会委員を務め、考古資料や史跡に関する専門的知見に基づき、「西山遺跡出土特殊器台」などの県指定重要文化財の指定に中心的な役割を果たした。 また、史跡こうもり塚古墳や備中国分尼寺跡等の保存活用総合調査事業においては、調査指導会委員として専門的な指導・助言を行うことで国指定史跡の追加指定に尽力するとともに、豊富な経験と高い専門性を生かし、本県の文化財保護に大きく貢献した。

6　特殊な業績をあげ功労のあった者

該当者なし

7　特に優れた教育活動を行いその業績が奨励に値する者

※年齢は、令和8年11月2日現在

	氏　名	現　職	表　彰　事　由
1	あかし　みか 明石　美香 （44歳）	倉敷市立倉敷東小学校 教諭	国語科及び算数科の指導において高い専門性を有し、児童の実態を的確に把握した教材研究を絶えず追求している。ユニバーサルデザインの視点に基づく授業づくりを常に心掛け、学習規律の徹底や活動内容の明確化を図ることで、全員参加の教育活動を保障している。児童一人ひとりに寄り添う粘り強い指導により、確かな学力の定着に努めた。 学年主任として、自ら積極的に授業を公開し、学力向上のための取組を主体的に提示することで若手教員の指導力向上に尽力している。よりよい指導方法を求めて研修にも積極的に参加しており、周囲を巻き込んで課題解決に当たる機運の醸成にも大きく貢献した。
2	まえだ　しょう 前田　翔 （42歳）	倉敷市立児島小学校 教諭	社会科指導に高い専門性を有し、市副読本「みんなのまちくらしき」の編纂では史料収集や指導案作成に多大な貢献をした。郷土資料を活用した教材開発や実践は児童の学力向上に確実に還元されており、小学校教育研究会社会科部会長を３年間務めるなど、本県社会科教育の充実を中心的な立場で支えている。 学年主任として、組織的な指導を牽引するとともに、自主的なＯＪＴ研修を主宰し、公開授業を通して学習展開の範を示すなど、若手教員の育成に尽力している。誠実な職務遂行と卓越した力量は全教職員から厚い信頼を得ており、ミドルリーダーとして本県教育の発展に大きく貢献した。
3	やまむろ　ひろこ 山室　裕子 （42歳）	倉敷市立琴浦東小学校 教諭	教材研究や授業分析において卓越した専門性を有し、児童の実態を的確に把握した根拠に基づく授業改善に尽力した。主体的な思考と対話を重視した算数科の授業づくりを展開し、児童が自ら探究を深める学習過程を構築することで、論理的な思考力の育成や学力向上に確かな成果を上げている。 令和４年度からは研究主任として、大学教授と連携し、数学教育の理論や知見を具体的な授業実践へと具現化させるとともに、絶えず研究を深化させるなど、若手教員への指導にも熱意を持って当たり、本県教育の発展に大きく貢献した。
4	やまもと　まさとし 山本　真敏 （42歳）	倉敷市立郷内小学校 指導教諭	授業改革推進員として、データ分析に基づき、抽出した課題解決のための校内研修を企画立案するとともに、学習規律の徹底を図ることで落ち着いた学習環境の整備に尽力した。自ら発行する「推進員だより」では各教員の強みに光を当てた温かな助言を行い、教職員の意欲の向上に尽力した。 他校において実施される国語科・算数科を中心とした校内研修の講師を務めるとともに、中堅教諭等資質向上研修の講師を務めるなど、県内教員の指導力向上に大きく貢献した。
5	とうどう　ゆうこ 藤堂　優子 （44歳）	津山市立一宮小学校 教諭	特別支援教育コーディネーターとして、校内において特別支援教育の観点を取り入れた自立応援室の運営を行い、担任以外の複数の教員が協働する校内支援体制の整備を行うなど、不登校児童の支援に尽力した。令和６年には岡山県の不登校対策担当者養成研修において実践発表を行うなど、本県の不登校支援の充実に取り組んだ。 また、英語科の教科指導や生徒指導に長けており、作成したＣＡＮ－ＤＯリスト（年間指導計画）が市内で展開され他校でも活用されるなど、市内の英語教育の推進にも寄与している。特別支援教育及び英語教育の両面から本件の小学校教育の充実に大きく貢献した。
6	まつした　しょう 松下　奨 （34歳）	総社市立新本小学校 教諭	校内の研究主任として、授業力の向上と児童同士のつながりの深化を目指した授業改善に尽力している。実際の指導や児童への関わり方のイメージを校内全体で共有し、協同学習をテーマとした授業公開を通じて、令和７年度には教室に入りづらいなどの理由で保健室を利用する児童がほぼゼロとなるなど、校内の研究実践を牽引している。 学級においては、児童の日々の学級活動の様子を学級通信等を活用して積極的に保護者に発信することにより、児童及び保護者から大きな信頼を得ている。
7	すぎやま　ゆうた 杉山　雄泰 （40歳）	岡山県立津山中学校 教諭	社会科の高い専門性と教科指導力を有し、具体物の操作や生徒の問いを喚起する発問の工夫など、生徒の主体的な学びや思考力の育成を図る授業実践の研究に取り組んでいる。中高一貫校の利点を生かし、６年間を見通した系統的な教科指導の充実に努めている。自ら授業を積極的に公開し自己研鑽に励む姿勢は、他の教職員の模範となっている。 教務課長として、高校と合同の授業研究会等の企画・運営を行い、組織的な授業改善を推進するなど、教員の授業力向上を牽引している。
8	すぎもと　ひろとし 杉本　博俊 （39歳）	倉敷市立下津井学園 教諭	下津井地区の小中連携事業の中心として、小学校外国語活動と中学校英語科の接続に尽力した。小学校においては英語を話すこと、聞くことを軸とした親しみやすい授業づくりを行い、中学校においては言語活動と協働学習を中心とした実践的なコミュニケーション能力の育成に主眼を置いた授業を展開するなど、発達段階に応じた適切な指導を実践している。 義務教育学校の学年主任と生徒指導主事を兼任するとともに、前後期課程の橋渡し役や相談役として、組織の融和と連携の深化に大きく貢献した。優れた調整力により周囲からの信頼も厚く、英語教育の研究実践や小中連携の推進を通して、英語教育の充実に寄与している。

	氏　名	現　職	表 彰 事 由
9	ほしの　たくろう 星埜　拓郎 （36歳）	美作市立英田中学校 教諭	市内の英語科合同教科会において、オンラインやロイロノートを活用した他校との合同授業を実施することで小規模校間における生徒同士の交流を活性化させることに尽力した。実際に英語を使用して互いの考え等を伝える活動を工夫し、生徒の書く力の育成やあらかじめ単元のゴールを生徒に示すことで、自己調整の機会を重視した授業実践を行うなど、生徒の英語を学ぶ意欲及び英語科教員の授業力向上に大きく貢献した。 令和７年度には、この実践を県教委主催の授業改善研修会において公開し、令和８年度は中学校英語教員指導力向上研修の講師を務めるなど、県内の授業改善を牽引している。
10	ふくだ　ようすけ 福田　庸介 （41歳）	岡山県立倉敷中央高等学校 指導教諭	福祉科の教員として、地元企業と連携し、高齢者のフレイル予防や健康増進を目的とした「はつらつ健康教室」などの地域連携プロジェクトを精力的に展開している。生徒たちが地域社会の実際の課題に直接触れ、住民との温かい交流を通して主体的に学ぶ場を創出しており、単なる座学に留まらない、社会に直結した生きた学びに取り組んでいる。 生徒の技術向上と専門性を引き出す指導力に優れ、岡山県高校生福祉介護技術コンテストや生徒体験発表など、専門性を競う外部のコンテストにおいて生徒たちを優秀な成績へと導いた。
11	えんどう　たかし 遠藤　隆 （41歳）	岡山県立高梁高等学校 主幹教諭	令和３年度から令和７年度まで進路課長、令和８年度からは教務課長を務め、強いマネジメント力を発揮し、進路指導業務や教務に関する事項等について教職員間の連絡調整はもとより、若手教員に対する指導・助言を行うなど、円滑な学校運営に寄与している。 地理歴史の教科指導力に優れ、個々の生徒の進路実現に向けた学力向上に努めた。 学校組織マネジメント研修で得た知識を積極的に還元し、主幹教諭として校内の中核的な役割を果たすなど、他の教職員の模範となっている。
12	みついし　まさかず 光石　正和 （45歳）	岡山県立高梁城南高等学校 指導教諭	絶滅危惧種ブッポウソウの保護活動を通じて、地域に根ざした環境教育に尽力した。指導力に優れ、活動の失敗や課題を成長の糧に変えるアプローチにより、生徒の主体的な活動につなげており、「第１１回全国ユース環境活動発表大会中国地方大会」では特別賞を受賞し、全国大会に導いた。 令和５年度には初任者研修講座学校講師として、授業改善や教材研究について初任者へ助言を行うとともに、令和７年度は教育課程研究協議会講師として生徒の主体的な授業実践に向けて教科横断的な視点を取り入れるなど、県内の農業教育の発展に大きく貢献した。
13	かわかみ　けいこ 川上　啓子 （49歳）	岡山県立岡山東支援学校 栄養教諭	食育の授業として、実物大のフードモデルと栄養バランス測定機材を用いて「『自己選択×リアル体験』による日常生活につながる食育」を展開したことにより、アンケート調査で「朝食をほとんど毎日食べる」と回答した生徒の割合が１割以上増加するなど、生徒が食事の重要性を理解するとともに、自分で考えて選ぶ力を育成した。この取組を令和７年度全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会で発表するなど、全国規模で食育の推進と栄養教諭の資質向上に大きく貢献した。 また、令和７年度岡山県食物アレルギー対応委員会に県学校栄養士会代表として参画し、県内で起こった食物アレルギーに関する事故やヒヤリハット事例の再発防止策等を共有することを通じ、県内の学校における食物アレルギー対応の向上に尽力した。
14	きょう　ちえ 京　千恵 （43歳）	岡山県立西備支援学校 教諭	市町村の状況に応じた体制整備の支援及び学校と関係機関の連携支援の専門的な知識を活かし、特別支援教育エキスパートとして、積極的に他校種への支援に取り組んだ。児童生徒の言動の背景にある理由を考えること、学校園の先生と一緒に考えること等、おかやま発達障害者支援センターで学んだ経験を活用し、本県の特別支援教育の推進に寄与した。 知的障害教育において高い専門性を有し、県総合教育センターの初任者研修において、単元計画を踏まえた授業づくりの講座で講師を務めるなど若手教員の育成に尽力した。
15	たけもと　よしき 竹元　義記 （43歳）	岡山県立誕生寺支援学校 教諭	地域連携の推進役として、学校と地域のボランティアや支援機関をつなぎ、学校行事や授業の充実に尽力した。特に、生徒が栽培した農作物や製作した製品を生徒の居住地やアンテナショップで販売する活動を通して、生徒のコミュニケーション能力や自己肯定感を高めるとともに、地域とつながり、社会参加への意識を育てる教育を実践した。 学校の地域連携の取組をまとめ、全日本特別支援教育推進連盟中国四国地区大会において、「アンテナショップを核とした生徒の社会参加を育む取組」を演題として発表をするなど、本県の特別支援教育の推進に大きく寄与した。

８　公立学校で特に業績のあったもの

	学　校　名	代　表　者　名	表　彰　事　由
1	玉野市立第二 日比小学校	校長 杉本　哲也	令和６年度から２年間、県教委の「多層的支援システム構築事業」の研究指定を受け、「主体的・対話的で深い学びの創造−主体的に学び合う子どもの育成−」を主題に研究に取り組んだ。算数科を中心に「教師主導の授業」から「児童主体の授業」への段階的な転換を図るための研修を実施したことで、教員の意識が大きく転換し、児童に委ねる場面や支援の在り方が具現化され、児童主体の授業が充実した。 本研究に取り組むことで、児童自身がめあてと学習内容の定着を意識できるようになり、自らの学びを見つめ直す自己調整学習の素地が形成されるなど、教職員の組織的な授業改善サイクルの確立及び意識変革並びに児童の主体的な学びに成果を上げた。
2	和気町立本荘 小学校	校長 鈴木　隆幸	令和５年度に、県教委の「働き方改革ステップアップ実践研究事業」の研究指定を受け、学校と地域が協力して学校運営に取り組むコミュニティ・スクールとして、学校運営協議会での建設的な対話を通じ、学校の電話対応時間の短縮や通知表の学期ごとの所見欄を廃止するなど、教職員の負担が大きい業務を削減した。 令和６年度には、県内全ての副校長・教頭を対象とした研修講座で、研究発表を行うなど県内の働き方改革の推進に大きく貢献するとともに、令和７年度には、教職員の時間外在校等時間を半減させるなど、教職員の働き方改革に大きな成果を上げた。
3	高梁市立川上 中学校	校長 赤木　尚美	県教委の教科指導支援事業「小規模校連携モデル研究」の研究指定を受け、合同教科会を通じた情報共有及び他校との連携に取り組んだ。令和５年度は理科、令和６・７年度は国語科において、近隣の小規模校と合同教科会を定期的に開催し、日常的な授業改善の取組の充実と授業力の向上のための体制づくりを推進するなど、組織的な授業改善を行った。 Ｇｏｏｇｌｅ　Ｃｌａｓｓｒｏｏｍを活用して迅速に情報共有や資料共有を行うなど、オンラインで他校の教員とつながり、市内の教職員が互いに授業内容を把握できる体制を整えた結果、特に若手教員にとって各自の指導の幅を広げ振り返る機会となり、全国学力・学習状況調査のスコアが上昇するなど、授業改善において成果を上げた。
4	岡山県立瀬戸 高等学校	校長 大本　圭	総合的な探究の時間「ひたぶるタイム」や各教科の授業において、「瀬戸高６つの力」（受けとる力、伝える力、つながる力、考える力、見つける力、よりよくなろうとする力）の育成を掲げ、対話を中心とした授業を行うことで、変化する社会に対応する力の育成に努めている。 また、令和６年度に国から指定された「ＤＸハイスクール事業」を土台として、生徒一人ひとりの可能性を引き出す「ＡＩ共創型教育」を推進し、総合的な探究の時間の年間計画に生成ＡＩの活用を組み込むことで、生成ＡＩを思考の伴走者として活用する力を育成し、探究活動の問いの創出、調査及び発信において、生成ＡＩの特性や限界を理解しながら自走する姿勢を持った生徒の育成に大きな成果を上げた。